

平成22年度全国学力・学習状況調査の結果について

指導課

- 1 実施日 2010年4月20日(火)
- 2 対象 実施校 小学校 42校 (第6学年児童)
中学校 20校 (第3学年生徒)
- 3 調査教科等 ○国語、算数・数学(A:主として「知識」に関する問題、B:主として「活用」に関する問題)
○児童・生徒、学校に対する調査
- 4 学力調査結果

【小学校】平均正答率 ※ () 内の数値：平均正答数 / 問題数

	国 語		算 数	
	A:主として知識	B:主として活用	A:主として知識	B:主として活用
町田市	84.0 (12.6/15)	76.4 (7.6/10)	73.1 (13.9/19)	52.7 (6.3/12)
東京都(公立)	84.5 (12.7/15)	79.5 (7.9/10)	76.5 (14.5/19)	52.7 (6.3/12)
全 国(公立)	83.3 (12.5/15)	77.8 (7.8/10)	74.2 (14.1/19)	49.3 (5.9/12)

【中学校】平均正答率 ※ () 内の数値：平均正答数 / 問題数

	国 語		数 学	
	A:主として知識	B:主として活用	A:主として知識	B:主として活用
町田市	76.8 (26.9/35)	64.5 (6.4/10)	68.0 (24.5/36)	43.7 (6.1/14)
東京都(公立)	76.3 (26.7/35)	66.7 (6.7 /10)	65.5 (23.6/36)	44.1 (6.2/14)
全 国(公立)	75.1 (26.3/35)	65.3 (6.5/10)	64.6 (23.3/36)	43.3 (6.1/14)

5 調査結果から

【小学校】

平均正答率は国語、算数ともに、東京都・全国とほぼ同じような数値を示していますが、算数では「知識に関する問題」の分数の設問が低い正答率でした。また国語・算数ともに、知識・技能を「活用する力」に課題があることが分かりました。国語については、「資料や情報に基づいて自分の考えや感想を明確に記述すること」、算数では「日常的な事象について、筋道を立てて考え、数学的に表現すること」などが低い正答率でした。改善策としては、国語では複数の情報を比べて読む指導や、目的に応じて本や文章を選んで読む指導を充実させること、算数では分数についての基本的な学習を充実させること。また、思考過程を式で表現したり、根拠や対象を明らかにして説明できるように指導を充実させることが重要と考えます。

【中学校】

平均正答率は国語、数学ともに、東京都・全国とほぼ同じような数値を示していますが、国語、数学ともに、知識・技能を「活用する力」に課題があることが分かりました。国語については、「表現の仕方に注意して読み、内容について理解すること」や、数学では「事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて表わすこと」などに課題がありました。改善策としては、国語では文脈の中で語句の意味をとらえる指導や表現に着目して読む指導を充実させること、数学では事柄の特徴を的確にとらえ数学的に説明する指導を充実させることが重要と考えます。